

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	救急処置法	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツトレーナー科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト「救急処置」、日本赤十字社救急法救急員テキスト				
担当教員情報					
担当教員	本郷	実務経験の有無・職種	有・アスレティックトレーナー		
学習目的					
<p>いつ・どこで・突然のケガや病気にみまわれる教われるか予測ができません。</p> <p>スポーツトレーナーとして適切な救急処置の知識を学び、いざというときに対応できるようになる事は必須です。</p> <p>救急処置の基本知識、スポーツ現場における対応、外傷の対応、救命処置、内科的疾患の救急処置、現場における救急体制などを学びます。</p>					
到達目標					
<p>スポーツ現場で重要な救急処置の知識を学び、いざというときに対応できるようになることです。</p> <p>そのためには、救急処置の基本をおさえ、スポーツ現場をはじめ、各種状況に応じた救急体制を作り、万が一ケガや病気が起こった時に適切な処置ができるよう知識と救急処置の方法を身につけましょう。</p>					
教育方法等					
授業概要	救急処置を座学で学び、必要な知識を習得します。				
注意点	授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	筆記試験を実施		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 (口頭・実技)	%			
	平常点	%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	スポーツ現場における救急処置の必要性が理解できる			
2回	救急処置概論	概論が理解できる			
3回	スポーツ界の救急処置の現状	現状を理解できる			
4回	命を守るために	救急処置・対応の心構えができる			
5回	心配蘇生法①	心肺蘇生法が理解できる			
6回	心配蘇生法②	心肺蘇生法ができる			
7回	外傷時の救急処置①	外傷時の救急処置が理解できる			
8回	外傷時の救急処置②	外傷時の救急処置ができる			
9回	習熟度チェック	上記を総合的に理解し覚えている			
10回	内科的疾患①	内科的疾患について理解できる			
11回	内科的疾患②	内科的疾患について理解し覚える			
12回	スポーツ現場における救急体制①	救急体制について理解できる			
13回	スポーツ現場における救急体制②	救急体制について理解できる			
14回	スポーツ現場における救急体制③	救急体制について理解できる			
15回	まとめ	上記内容について総合的に理解し覚え、スポーツ現場で対応できる			